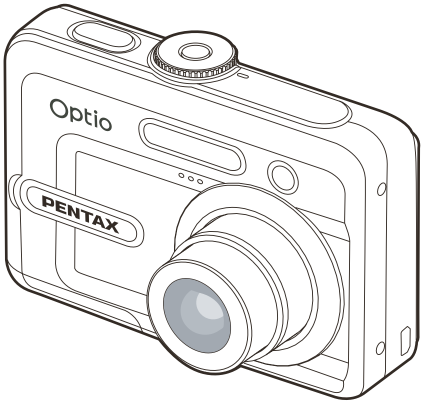
PENTAX



デジタルカメラ

Optio E20

使用説明書

PictBridge ACDSee SD QuickTime

カメラの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

SD ロゴは商標です
PENTAX およびペンタックス、Optio およびオプティオはペンタックス株式会社の登録商標です。
QuickTime™ および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
本製品は PRINT Image Matching III に対応しています。PRINT Image Matching 対応のプリンターでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching III より前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。
PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching III に関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。

PictBridge について

「PictBridge」は、プリンターとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

⚠ **警告**　このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

⚠ **注意**　このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

⚠ **警告**

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- AC アダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外の AC アダプターをご使用になったり、専用の AC アダプターを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に「煙が出ている」、「変なにおいがする」などの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池または AC アダプターを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火のおそれがあります。
- 充電式のニッケル水素電池以外は充電しないでください。破裂・発火のおそれがあります。このカメラに使用できる電池の種類で、ニッケル水素電池以外は充電ができません。
- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどのおそれがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などのおそれがあります。
- 電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こすおそれがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目についたり、口に入らないよう十分にご注意ください。

電池の取り扱いについての注意

- このカメラは、単 3 形ニッケル水素電池、単 3 形アルカリ電池のいずれか 2 本使用します。これら以外の電池は使用しないでください。カメラの性能が十分に発揮できない場合や、電池の破裂、発火の原因となることがあります。
- 単 3 形アルカリ電池、単 3 形リチウム電池、単 3 形ニッケルマンガン電池は充電ができません。また電池は分解しないでください。無理に充電や分解をすると、破裂や液漏れの原因となります。
- 電池を交換するときは、メーカー、種類、容量の異なる電池を混ぜて入れないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて入れないでください。電池の破裂、発火の原因となります。
- 電池の「＋」と「－」の向きを間違えて入れないでください。電池の破裂、発火の原因となります。
- 電池の外装シールは剥がさないでください。シールを剥がすと電池内部がショートした状態になり、発火や破裂、液漏れ、発熱の原因となります。

AC アダプターについて



注意

- AC コードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もし AC コードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、AC コードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に付属しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SD メモリーカード）の不具合により、撮影や再生、パソコンなどへの転送がされなかった場合、画像や動画などの記録内容の保証はご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所には保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は 0 ℃～ 40 ℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることがありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1 ～ 2 年ごとに定期点検にお出しすることをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SD メモリーカードの取り扱いについては、「SD メモリーカード使用上の注意」（JP-19）をご覧ください。
- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニターの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり液晶モニターが破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

目次

本書の構成

本書は、次のように構成されています。

1. **お使いになる前に → JP-8**
   カメラの特長や、付属品、各部の名称について説明しています。

2. **準備編 → JP-15**
   お買い上げ後、画像を撮るまでの準備操作について説明しています。
   必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行ってください。

3. **使ってみよう → JP-27**
   基本の撮影方法と再生方法、印刷の方法などの基本操作がわかります。

4. **リファレンス → JP-61**
   設定、撮影メニュー、再生メニュの機能の紹介。

5. **付録 → JP-71**
   困ったときの対処のしかたや、各種資料を記載しています。

はじめに (紹介)

ダイヤルを回すだけの簡単操作でモードの選択がおこなえる回転式モードダイヤルを採用した、有効 600 万画素、光学 3 倍ズームレンズ搭載の小型・軽量コンパクトデジタルカメラです。

1. **回転式モードダイヤル**
   静止画撮影用 6 種類、動画撮影、設定の合計 8 種類モードを備えており、多彩な機能を素早く選択できます。

2. **有効 600 万画素の高画質**
   撮像素子には有効画素 600 万画素の 1/2.5 型 CCD を採用し高画質な撮影を楽しまめます。

3. **光学 3 倍、最大 12 倍相当のズーム倍率**
   光学 3 倍ズームレンズ（5.5mm ～ 16.5mm、35mm フィルム換算で 34 ㎜～ 102mm 相当) を搭載し、デジタルズーム機能（1 ～ 4 倍）とあわせて、最大で約 12 倍相当の撮影が可能です。

4. **2.4 型の大型液晶モニター**
   2.4 型の大型液晶モニターを搭載しメニュー表示も大きくて見やすいので、カメラの操作や設定を快適に行うことができます。

5. **単 3 形電池に対応**
   容易に電池を入手することができる単 3 形電池に対応しています。

6. **SD メモリーカード、約 13MB の内蔵メモリ搭載**

7. **テレビで再生可能なビデオ出力端子を装備 (NTSC、PAL 両対応)**

8. **赤目軽減機能付オートストロボ内蔵**

9. **最短 6cm まで接写可能なマクロモード**

10. **USB マスストレージクラス対応**

11. **PictBridge 対応**

12. **DPOF 機能、Exif Print および PRINT Image Matching III 対応**

13. **画像ビュワー/ 画像管理ソフト ACDSee for PENTAX を付属**

主な付属品の確認

本製品の箱を開けたら、以下の項目があるのを確認してください。
不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

主な同梱品：

本体 Optio E20
クイックスタートガイド
取扱説明書（Operating　Manual（CD-ROM））
ソフトウェア CD-ROM(S-SW60)
カメラストラップ（O-ST33）
ビデオケーブル（I-VC60）
USB ケーブル (I-USB60)
単三形アルカリ乾電池 (2 本) (同梱の電池は、動作確認用のサンプルです。)
保証書

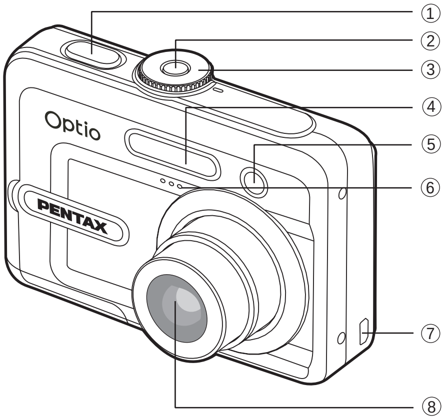
別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。
- AC アダプターキット K-AC51J
- USB ケーブル I-USB60（※）
- ビデオケーブル I-VC60（※）
- ストラップ

（※）の製品は付属品と同じものです。

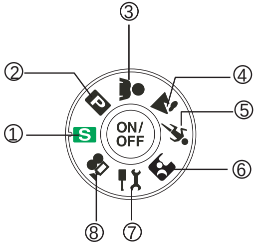
各部の名称

前面



1. シャッターボタン
2. 電源スイッチ
3. モードダイヤル
4. ストロボ
5. セルフタイマーランプ
6. マイク
7. PC/ ビデオ端子
8. レンズ

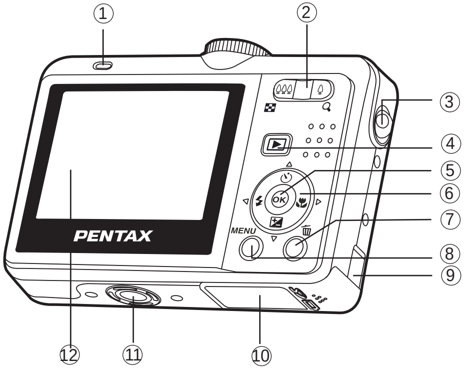
モードダイヤル



モード

1. S シンプル
2. P プログラム
3. ポートレート
4. 風景
5. スポーツ
6. 夜景
7. 設定
8. 動画

背面

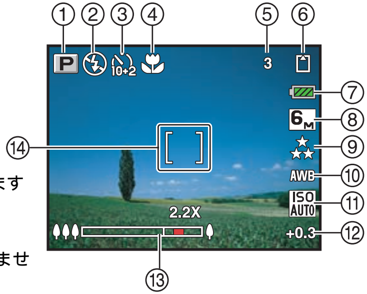


1. ステータスランプ
2. ♠♠♠ / ▦ ボタン
   ♠ / 🔍 ボタン
3. ストラップ取り付け部
4. ▶ 再生ボタン
5. OK ボタン
6. 十字キー
   ▲ / ⏱ ボタン
   ▶ / 🌷 ボタン
   ◀ / ⚡ ボタン
   ▼ / ± ボタン
7. 🗑 消去ボタン
8. MENU ボタン
9. 接続ケーブルカバー
10. 電池 / カードカバー
11. 三脚ネジ穴
12. 液晶モニター

LCD モニター情報

カメラモード

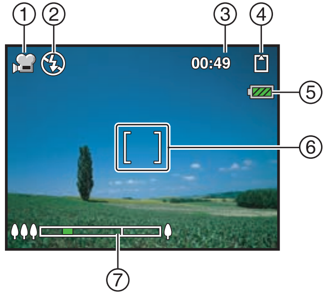
1. モード
   - [S] シンプル
   - [P] プログラム
   - [ ] ポートレート
   - [ ] 風景
   - [ ] スポーツ
   - [ ] 夜景
   - [ ] 設定
   - [ ] 動画
2. ストロボモード
   - [ ] 自動発光（オート）
   - [ ] 自動発光　赤目軽減
   - [ ] 強制発光
   - [ ] 発光禁止
3. ドライブモード
   - [ ] 標準
   - [ ] 高速連写
   - [ ] オートブラケット
   - [ ] 2 秒セルフタイマー
   - [ ] 10 秒セルフタイマー
   - [ ] 10+2 秒セルフタイマー
4. フォーカスモード
   - [Std.] 標準
   - [ ] マクロ
   - [ ] 無限遠
5. 撮影可能枚数
6. メモリー状態表示
   - [ ] 内蔵メモリー（カードなし）
   - [ ] SD メモリーカード
7. 電池残量表示
   - [ ] まだ十分に残っています
   - [ ] 少し減っています
   - [ ] だいぶ減っています
   - [ ] 残量がほとんどありません
8. 記録サイズ
   - [6M] 2816 x 2112
   - [4M] 2304 x 1728
   - [2M] 1600 x 1200
   - [640] 640 x 480
9. 画質
   - [ ] S. ファイン
   - [ ] ファイン
   - [ ] エコノミー



10. ホワイトバランス
    - [AWB] オート
    - [ ] 太陽光
    - [ ] 曇天
    - [ ] 白熱灯
    - [ ] 蛍光灯
11. ISO 感度
    - [ISO AUTO] オート
    - [ISO 64] 64
    - [ISO 100] 100
    - [ISO 200] 200
12. 露出補正
13. ズームバー
14. フォーカスフレーム

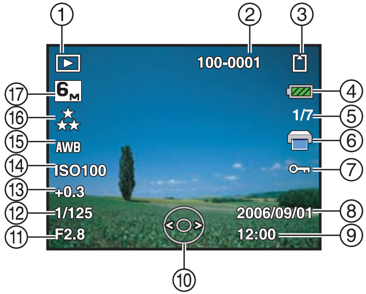
■ 動画モード

1. 動画モード
2. ストロボモード
3. 動画記録可能時間
4. メモリー状態表示
5. 電池残量表示
6. フォーカスフレーム
7. ズームバー



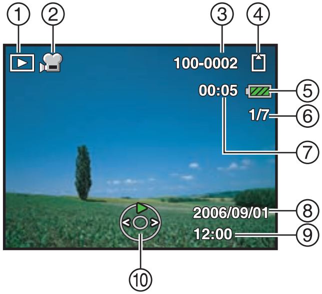
■ 静止画再生

1. 再生モード
2. ファイル番号
3. メモリー状態表示
4. 電池残量表示
5. インデックス / 総枚数
6. DPOF 表示
7. プロテクト表示
8. 日付
9. 時間
10. 十字キー操作ガイド
11. 絞値
12. シャッター速度
13. 露出補正値
14. ISO 感度
15. ホワイトバランス
16. 画質
17. 記録サイズ



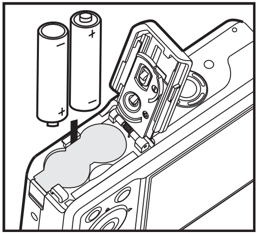
■ 動画画再生

1. 再生モード
2. 動画モード
3. ファイル番号
4. メモリー状態表示
5. 電池残量表示
6. インデックス / 総枚数
7. 経過時間
8. 日付
9. 時間
10. 十字キー操作ガイド



電池をセットする

電池は、単 3 形ニッケル水素電池、単 3 形アルカリ電池いずれか 2 本を使用します。



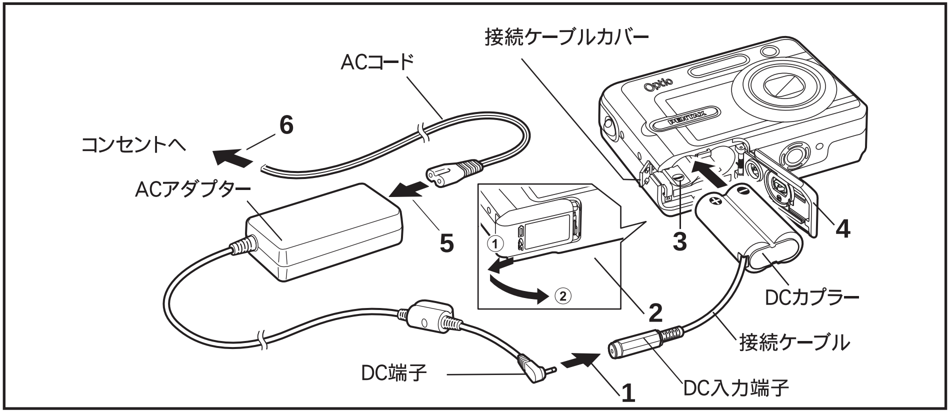
1. **電池 / カードカバーを開ける (JP-16 図中の枠内参考)**
2. **図のように電池の＋ーを合わせて挿入する**
3. **電池 / カードカバーを閉めて、水平に押し込む**

   電池を取り出すには、カメラの電源をオフし、カメラの電池 / カードカバー面を、上向きにし、電池 / カードカバーを開けます。

メモ

- 電池 / カードカバーを開閉時、電池を落とさないように注意してください。
- 単 3 形アルカリ電池は特性上、カメラの性能を十分に発揮できない場合があります。単 3 形アルカリ乾電池は、緊急用として以外は、使用をおすすめしません。
- 単 3 形アルカリ電池は充電式ではありません。
- 電源スイッチがオンのときは、バッテリー／カードカバーを開けたり、電池を取り出したりしないでください。
- 長い間使わないときは、電池を取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、電池が液漏れすることがあります。
- 電池は正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。また、電池の電極をよく拭いてから装填してください。
- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備の電池を用意して衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお低温によって低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 海外旅行などの長期間のおでかけ、寒冷地で使用する場合や、大量に撮影する場合は、予備の電池をご用意ください。

AC アダプター (別売) を使用する



長時間液晶モニターを使用したり、カメラをパソコンに接続する場合、AC アダプターをご使用ください。

※ AC アダプターキット K-AC51J は、AC アダプター D-AC5、DC カプラー D-DC51、AC コード D-CO2J のセットです。

1. **AC アダプターの DC 端子を、DC カプラーの DC 入力端子に接続する**
2. **カメラの電源が切れていることを確認してから、電池／カードカバーを開ける**
   ①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。
3. **DC カプラーの向きを電池室内の [+][-] 表示に合わせて、挿入する**

4. 接続ケーブルで接続ケーブルカバーを押し開きながら、電池／カードカバーを閉める

電池／カードカバーは、①と逆方向へ水平に押し込みます。電池／カードカバーが開かないよう、奥までしっかり押し込んでください。

5. AC コードを AC アダプターに接続する

6. 電源プラグをコンセントに差し込む

メモ

- 専用の AC アダプターキット K-AC51J 以外は使用しないでください。K-AC51J 以外のアダプターを使用したことによる損害は補償いたしかねます。
- 画像をパソコンに転送するなど、長時間連続してご使用になるときは、AC アダプターをご使用ください。

海外で AC アダプターを使用する

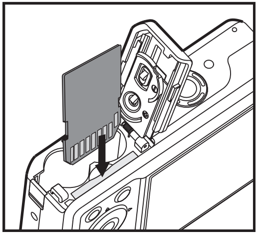
AC アダプターキット K-AC51J（別売）は、自動で全世界の電源電圧（100-240V）、電源周波数（50Hz、60Hz）に切り替わるように設計されています。

ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、「主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ」を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合った変換プラグを準備してください。

- AC アダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行ってください。
- 電源および接続ケーブルはしっかりと差し込んでください。記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- AC アダプターを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。
- ご使用の前に、必ず「ご注意ください」をお読みください。
- AC アダプターをご使用になるときは、AC アダプターキット K-AC51J に同梱の使用説明書をあわせてご覧ください。

SD メモリーカード (別売) をセットする

このカメラで使用できるカードは、SD メモリーカードです。撮影した画像や動画は、カメラにセットした SD メモリーカードに記録されます。SD メモリーカードをセットしていないときは、内蔵メモリーに記録されます。



1. SD メモリーカードを出し入れする前に、カメラの電源をオフにする
2. 電池 / カードカバーを開ける
3. 図で示すとおり SD メモリーカードを正しい向きに挿入する
4. 電池 / カードカバーを閉じる

SD メモリーカードを取出すには、軽く SD メモリーカードを矢印の方向に押し込んでください、SD メモリーカードが少し飛び出しますので、引き抜いてください。

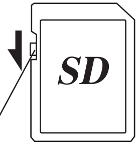
メモ

- 未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずこのカメラでフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SD メモリーカード / 内蔵メモリーをフォーマットする」(JP-25) をご覧ください。

データバックアップのおすすめ

内蔵メモリーに記憶したデータは、故障などの原因でまれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータはパソコンなどを利用して、内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

SD メモリーカード使用上の注意



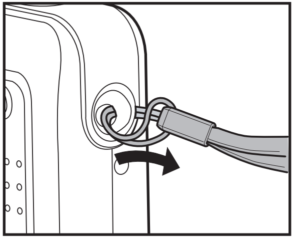
ライトプロテクトスイッチ

- SD　メモリーカードを出し入れするときは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- SD　メモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。液晶モニターでは「カードがロックされています」と表示されます。
- カメラ使用直後に SD メモリーカードを取り出すと、SD メモリーカードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SD メモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、または USB ケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損や SD メモリーカードの破損の原因となります。
- SD メモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。
- また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SD メモリーカードのフォーマット中には絶対に SD メモリーカードを取り出さないでください。SD メモリーカードが破損して使用できなくなることがあります。
- SD メモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  1）使用者が SD メモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  2）SD メモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  3）長期間 SD メモリーカードを使用しなかったとき
- SD メモリーカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書込み速度の遅い SD メモリーカードでは、動画撮影時にカードに空き容量があっても途中で撮影が終了したり、撮影・再生時に動作が遅くなる場合があります。

- SD メモリーカードや内蔵メモリーに記録されたデータは、カメラやパソコン等の機能による消去やフォーマットを行っても、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。データの取り扱いや管理は、お客様の責任において行ってください。
- SD メモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社お客様相談センターにお問い合わせください。

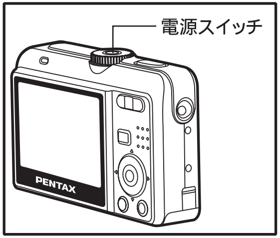
ストラップを取り付ける

ストラップの細いひもを、イラストのようにストラップ取り付け部に通して取り付けます。



電源スイッチのオン／オフ

1. **電源スイッチを押す**
   電源がオンになります。
   電源をオンにすると、レンズバリアが開き、レンズが前に出ます。
2. **もう一度電源スイッチを押す**
   電源がオフになります。



カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと、電池の残量がある場合でも「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、この場合は日時や記録サイズなどの設定が初期化されていることがありますので、「日時を設定する」(JP-24) の説明に従って、それぞれ設定をしなおしてください。

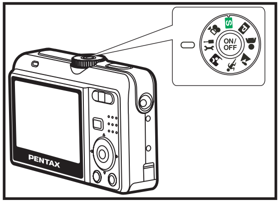
ステータスランプとセルフタイマーランプ

	状態	内容
ステータスランプ	緑点灯	カメラ電源オン
ステータスランプ	赤緑点滅	USB 転送中
ステータスランプ	赤緑点滅	ストロボ充電
セルフタイマーランプ	青点滅	セルフタイマーオン

言語を設定する

以下のように、希望の言語を選びます。

1. **モードダイヤルを 位置に合わせて、電源スイッチを押し、電源を入れます**
   「設定 1 」が表示されます。



2. **十字キー (▼) を押して、「 Language 」を選択して、 ボタンを押す**
3. **十字キー (▲▼) を押して、言語を選択する**
4. **ボタンを押す**





日時を設定する

下記のように、日時を設定します。

1. **モードダイヤルの 位置に合わせて、電源スイッチを押し、電源を入れます**

   「設定 1 」が表示されます。

2. **十字キー (▼) を押して、「日時設定」を選択し、 ボタンを押します**
3. **十字キー (◀▶) を押し、日付および時間の表示形式、年、月、日および時刻を選択する**

   日付の表示形式、12/24 時間表記の選択は、(▲▼) を押す。

   数字を進めるには、十字キー [▲] を押す。

   数字を戻すには、十字キー [▼] を押す。

4. **すべての項目を設定した後、 ボタンを押す**
5. **モードダイヤルを 位置以外に回します。**





メモ

- イラストは、カメラの実際の設定と異なる場合があります。

SD メモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする

未使用または他のカメラやパソコンなどのデジタル機器で使用した SD メモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマット (初期化) してからご使用ください。フォーマットを行うと、SD メモリーカードまたは内蔵メモリーに保存されているすべてのデータが消去されます。

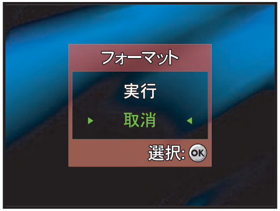
1. モードダイヤルの位置に合わせて、電源スイッチを押し、電源をいれます

「設定 1 」が表示されます。

2. 十字キー (▼) を押して、「フォーマット」を選択して、OK ボタンを押す



3. 十字キー(▼▲) を押して、「実行」を選択して、確認の為に OK ボタンを押す



メモ

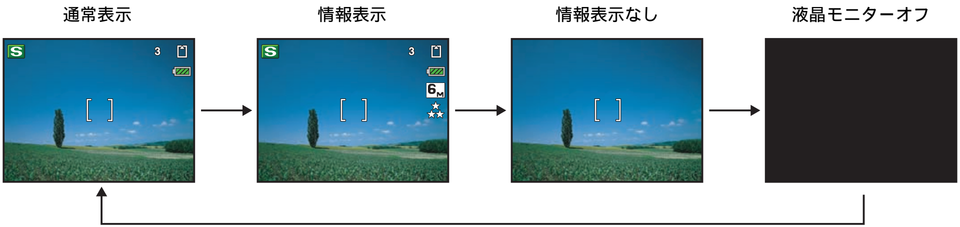
- パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットされた SD メモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行なうと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。
- SD メモリーカードが入っている場合は、SD メモリーカードがフォーマットされます。
  SD メモリーカードが入っていない場合は、内蔵メモリーがフォーマットされます。

液晶モニター

このカメラの 2.4 型カラー液晶モニターで、撮影する画像確認や、記録された静止画や動画の再生、メニュー設定を行なうことが出来ます。モニターに表示されたモードアイコン、文字、数値は、現在の設定に従い表示されています。

液晶モニターは OK ボタンを押す毎に、以下のように切り替わります。

静止画撮影時



動画撮影時

通常表示 → 情報表示なし → 液晶モニターオフ

静止画再生時

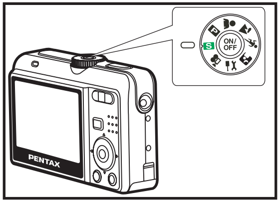
通常表示 → 情報表示 → 情報表示なし

メモ

・ 液晶モニターは強く照りつける日光もしくは明るい光で暗くなります。これは故障ではありません。

撮影する

1. **モードダイヤルを、S、P、人物、風景、スポーツ、夜景ポートレート の位置に合わせ、電源スイッチを押し、電源を入れます**
2. **フォーカスフレーム内に、被写体があるように、液晶モニター画面の構図を合わせる**
3. **シャッターボタンを半押しし、被写体にピントを合わせる**
   シャッターボタンを半押すと、ピントの合った位置で、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。同時に、適切な露出を設定します。
4. **シャッターボタンを下まで押す (全押し) と、撮影が行われます。**



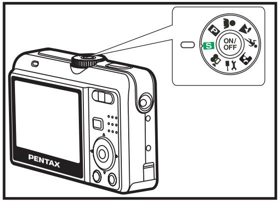
[ピント合わせの苦手な条件]

写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときはいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定（シャッターボタン半押し）し、その後構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの。
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件。
- 細かい模様の場合。
- 非常に速い速度で移動しているもの。
- 遠近のものが同時に存在する場合。
- 反射の強い光、強い逆光（周辺が特に明るい場合）

モードダイヤルを使う

モードダイヤルを回転し、撮影シーンに応じた撮影モードを選ぶことが出来ます。静止画撮影用 6 種類、動画撮影の 7 つのモードがあります。



1. **使いたい撮影モードに合わせる**
2. **電源スイッチを押す**
3. **構図を合わせます**
4. **シャッターボタンを半押しする**
   シャッターボタンを半押しすると、カメラはピント位置を合わせます。同時に、適切な露出を設定します。
5. **シャッターボタンを全押しする**
   撮影が行われます。

(動画モードの場合は、JP-38)

S	シンプル	記録サイズと画質以外の設定がオートに固定されます。デジタルカメラを初めて使う方でも迷うことなく撮影することができます
P	プログラム	シャッター速度、絞りを自動的に設定して撮影できます。フラッシュモードや、連射モードなどカメラの撮影機能と併用できます。
	ポートレート	人物写真をきれいに仕上げます。
	風景	風景写真をきれいに仕上げます。
	スポーツ	シャッター速度を速くして、被写体のぶれを軽減します。
	夜景	夜景など暗いシーンを撮影します。
	動画	音声付動画を撮影します。JP-38 参照
	設定	JP-68 参照

記録サイズと画質を選択する

画像の記録サイズ (画素数) と画質は、画像の用途に応じて設定します。記録サイズの数値や画質の★の数が、多くなるほどプリントした時に鮮明な画像が得られますが、画像の容量が増えるので、撮影できる枚数は少なくなります。

画像の記録サイズと画質の設定は、次の操作で行います。

1. **モードダイヤルを、S、P、👤、⛰、⛷、🌃 の位置に合わせ、電源スイッチを押し、電源を入れます**
2. **MENU ボタンを押す**
   「メニュー 1 」が表示されます。
   S モード時では、「メニュー」が表示されます。
3. **十字キー (▼) を押して、「記録サイズ」を選択し、OK ボタンを押す**
4. **十字キー (▼▲) を押して、記録サイズを選択し、OK ボタンを押す**
5. **画質は、操作手順 3， 4 と同様に、「画質」を選択して切り替える**





メモ

- 撮影できる画像の枚数は、使用する SD メモリーカードまたは内蔵メモリーの容量と画像の記録サイズ、撮影する被写体によって異なります。
- 画像は撮影後、リサイズできます。詳細について「撮影画像のリサイズと画質変更」(JP-47)」を参照。

ズームを使って撮影する

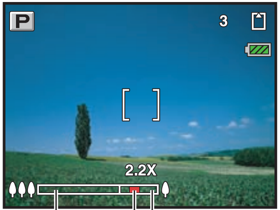
ズーム機能を使って、写る範囲を変えて撮影できます。

1. **モードダイヤルを、S、P、人物、風景、スポーツ、夜景 の位置に合わせ、電源スイッチを押す**
2. **望遠 / 広角 ボタンを押す**

   望遠：被写体を拡大して写す。

   広角：被写体を広い範囲で写す。

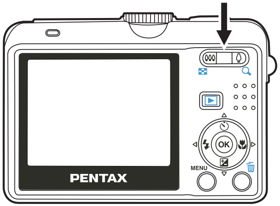
   ズームバーで現在の拡大状況が確認できます。
   デジタルズーム機能が「オフ」のときは、3 倍までの光学ズーム撮影となります。デジタルズーム機能が「オン」のときは、光学ズームと合わせて最大約 12 倍相当まで拡大して撮影できます。



3. **構図を決めて、シャッターボタンを押す**

メモ

- 高倍率の撮影では、手ぶれを防止するため三脚などのご利用をおすすめします。
- デジタルズーム機能に有効するには、P、人物、風景、スポーツ、夜景 の撮影のメニュー 2 デジタルズーム設定をオンにします。初期設定ではデジタルズーム機能がオンになっています。
- デジタルズーム領域で撮影すると、光学ズーム領域で撮影したときよりも画像の細密さが低下します。
- デジタルズーム機能がオンの状態でも、液晶モニターをオフにすると、デジタルズームはオフになります。デジタルズームを使用する場合は、望遠 ボタンを押しつづけて、液晶モニターで構図を合わせてください。
- 動画モードで撮影中は、光学ズームは使用できません。



ストロボを使用して撮影する

状況に応じて設定したストロボ発光方法により撮影が行えます。



1. **モードダイヤルを、S、P、、、、 の位置に合わせる**
2. **電源スイッチを押す**
3. **十字キー (◀) を押す**
   押すたびに発光方法が切り替わり、液晶モニターにストロボモードがアイコン表示されます。
   十字キー (▲▼) でも、発光方法を選択できます。
4. **OK ボタンを押す**
5. **構図を決めて、シャッターボタンを押す**

ストロボモード

A	自動発光（オート）	暗い時にストロボを発光します。
A	自動発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
	発光禁止	暗い時でも発光しません。夕景撮影や美術館などストロボの使えない場所での撮影にご利用ください。

フォーカスモードを変える



1. **モードダイヤルを、S、P、、、、 に合わせます。**
2. **電源スイッチを押す。**
3. **十字キー (▶) を押す。**
   押すたびにフォーカスモードが切り替わり、液晶モニターにフォーカスモードがアイコン表示されます。
   十字キー (▲▼) でも、フォーカスモードを選択できます。
4. **OK ボタンを押す。**
5. **構図を決めて、シャッターボタンを押す**

フォーカスモード

Std.	標準	シャッターボタンを半押ししたときに、フォーカスエリアにあるものにピントを合わせます。被写体までの距離が 0.4m 以上のときに使用します。
	マクロ	シャッターボタンを半押ししたときに、フォーカスエリアにあるものにピントを合わせます。被写体までの距離が広角時 0.06m ～∞ m、望遠時 0.35m~ ∞ m のときに使用します。
	無限遠	遠くにあるものを撮影するときに使用します。

・ フォーカスモードの初期設定は、標準です。

高速連写で撮影する

シャッターボタンを１ 度全押しすることで、３ 枚の連続した写真を撮ることができます。高速連写で撮影する時は、カメラを三脚などで固定してください。



1. **モードダイヤルを、S、P、人物、風景、スポーツ、夜景 の位置に合わせる**
2. **電源スイッチを押す**
3. **十字キー（ ▲ ）で、「高速連写」を選択する**
   十字キー（ ◀▶ ）でも、選択できます。
4. **OK ボタンを押す**
   液晶モニターに 高速連写 インディケータが表示されます。
5. **構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる**
6. **シャッターボタンを全押しすると、３枚連続して撮影する**

メモ

- 高速連写モードでは、ストロボは自動的に発光禁止になります。
- 高速連写の撮影中に構図を変えると、ピントの位置がずれてしまいます。
- フォーカス、露出、ホワイトバランスは最初の一枚目で固定されます。
- 撮影間隔は記録サイズや画質の設定によって変わります。

オートブラケット撮影をする

一度のシャッターボタンの全押しで、露出を変更して 3 枚撮影を行うことができます。
1 枚目は暗い画像、2 枚目は露出補正なしの画像、3 枚目は明るい画像を撮影します。



1. **モードダイヤルを、S、P、、、、 の位置に合わせる**
2. **電源スイッチを押す**
3. **十字キー (▲) で、「オートブラケット」を選択する**
   十字キー (◀▶) でも、選択できます。
4. **OK ボタンを押す**
   液晶モニターに インディケータが表示されます。
5. **シャッターボタンを全押しすると、 3 枚連続して撮影する**
   オートブラケットモードでは、ストロボは自動的に発光禁止になります。

セルフタイマーを使用して撮影する

グループ撮影などの状況でセルフタイマーを使用すると便利です。セルフタイマーを使って撮影するときは、カメラを三脚などで固定してください。



1. **カメラを三脚などで固定するか、またはそれを安定した表面に置く。**
2. **モードダイヤルを、S、P、、、、 の位置に合わせる**
3. **電源スイッチを押す**
4. **十字キー (▲) を押し、セルフタイマーモードを選択する**
   十字キー (◀▶) でも、選択できます。
5. **OK ボタンを押す**
6. **構図を合わせ、シャッターボタンを全押しする**
   セルフタイマーが起動します。セルフタイマーランプが点滅をはじめてから所定の時間後に撮影されます。
   セルフタイマー起動中に十字キー（▲）あるいは、シャッターボタンを半押で、セルフタイマーは解除されます。
   セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントの位置がずれてしまいます。

	2 秒	シャッターボタンを全押し後、約 2 秒後に撮影します。このモードはシャッターボタンを押すことで生じるカメラぶれを防ぐのに役立ちます。
	10 秒	シャッターボタンを全押し後、約 10 秒後に撮影します。このモードは撮影者が一緒に入る撮影に適しています。
	10+2 秒	シャッターボタンを全押し後、約 10 秒後に撮影します、さらに約 2 秒後に 2 枚目を撮影します。このモードでは、ストロボは自動的に発光禁止になります。

メモ

- セルフタイマー撮影後には、セルフタイマーモードは解除されます。
- もしセルフタイマーでさらに撮影したい場合、セルフタイマーモードを再設定してください。
- こんなときには [ピント合わせの苦手な条件] JP-27

撮影する画像全体の明るさを調整する (EV 補正)

意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影することが出来ます。

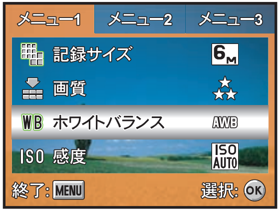
1. **モードダイヤルを、P、人物、風景、スポーツ、夜景ポートレート の位置に合わせる**
2. **電源スイッチを押す**
3. **十字キー (▼) を押す**
4. **十字キー (◀▶) で露出補正量を選択する**
   補正値は、－ 2.0EV ～＋ 2.0EV の範囲で設定できます。
5. **OK ボタンを押す**

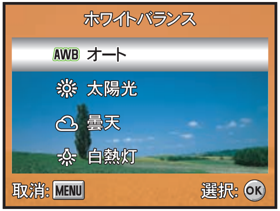


ホワイトバランスを設定する

被写体の色は光源によって変わります。例えば、日中の光があたっているときと電球の光があたっているときとでは、同じ白い被写体であっても白の色が違います。ホワイトバランスでは、光源に応じてプリセット設定を行います。

1. **モードダイヤルを、P、 、 、 、 の位置に合わせる**
2. **電源スイッチを押す**
3. **MENU ボタンを押す**
   「メニュー 1」が表示されます。
4. **十字キー（ ▼ ）を押して、「ホワイトバランス」を選択して、次に、OK ボタンを押す**
5. **十字キー（ ▲▼ ）を押して、設定を選び、OK ボタンを押す**
6. **設定を取消すには、MENU ボタンを押して、メニュー画面に戻る**



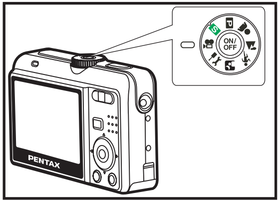


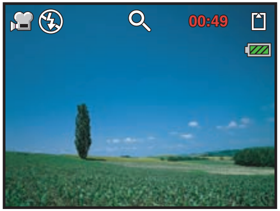


動画を撮影する (動画モード)

動画を撮影する。このモードは、動画撮影時に、音声も同時に記録します。

1. **モードダイヤルを、 に合わせ、電源スイッチを押す**
2. **シャッターボタンを押す**
   撮影が開始されます。
   撮影中は、赤くステータスランプが点滅します。
3. **シャッターボタンを押す**
   撮影が終了します。





メモ

- 動画モードで撮影中は、光学ズームは使用できません。デジタルズームを使用する場合は、液晶モニターで構図を合わせてください。
- デジタルズーム機能は撮影中も使用できます。
- デジタルズーム機能のオン / オフの切替動は、動画メニュー (JP-65) 参照

静止画を再生する

静止画をひとつずつ表示することができます。

1. **モードダイヤルを、S、P、人物、風景、スポーツ、夜景ポートレート の位置に合わせ、電源スイッチを押す**
2. **▶ 再生ボタンを押す**
   最後に記録された画像が液晶モニターに表示されます。
   基本情報が液晶モニターに表示されています。詳細情報表示を見るために、OK ボタンを押します。
3. **十字キー（◀▶）で画像を切り替える**
   十字キー [◀] は、前の画像が表示されます。
   十字キー [▶] は、次の画像が表示されます。



メモ

- プロテクトされた静止画 / 動画には、鍵 表示されます。詳細は、「消去できないようにする (プロテクト)」(JP-45)
- すでに DPOF が設定されている画像は、プリンター 表示されます。詳細は、「プリントサービスの設定をする (DPOF) 」(JP-49) を参照してください。
- 内部メモリーか SD メモリーカードに画像が記録されていない場合、「画像がありません」と液晶モニターに表示されます。
- 設定モードから再生モードには入れません。

拡大して再生する

画像を再生する際、最大 4 倍まで拡大表示できます。



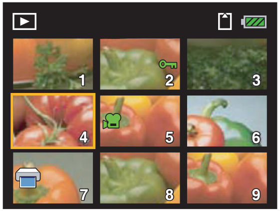
1. **[▶] 再生ボタンを押す**
   最後に記録された画像が液晶モニターに表示されます。
   十字キー [◀] は、前の画像が表示されます。
   十字キー [▶] は、次の画像が表示されます。
2. **ズーム / ⊞ / 🔍 ボタンの 🌲 / 🔍 ボタンを押す**
   画面が大きく表示されます。押し続けると連続的に大きさが変わります。
   拡大表示中にできる操作
   ズーム / 🌲 / 🔍 ボタン : 画像を大きくする
   ズーム / 🌲🌲🌲 / 🔍 ボタン : 画像を小さくする
   液晶モニター上に倍率が表示されます。
3. **十字キー（ ▲▼◀▶ ）で 拡大位置を移動する**

メモ

- 倍率は 1.5X から 4X(6 ステップ : 1.5X、2.0X、2.5X、3.0X、3.5X、および 4.0X) まで。
- 動画は拡大表示できません。

9 画像ずつ再生する

撮った画像を液晶モニターに同時に 9 枚ずつ表示できます。



1. ▶ **再生ボタンを押す**
   最後に記録された画像が液晶モニターに表示されます。
2. **ズーム / ▦ / 🔍 ボタンの ♠♠♠ / ▦ ボタンを押す**
   画像が小さなコマで 9 コマずつ表示されます。
   記録された動画には、🎥 モードアイコンが表示されます。
   プロテクトされている静止画 / 動画には、🔑 アイコンが表示されます。詳細は、「消去できないようにする (プロテクト)」(JP-45) を参照。
   DPOF が設定されている画像は、🖨 アイコンが表示されます。詳細は、「プリントサービスの設定をする (DPOF)」(JP-49) を参照。
3. **十字キー（▲▼◀▶）で全画面表示させたい画像を選ぶ**
4. **Ⓞ ボタンまたは、ズーム / ▦ / 🔍 ボタンの ♠ / 🔍 ボタンを押す**
   選択した画像が全画面表示されます。

メモ

・ 9 画像表示時に 🗑 ボタンを押すと、選択している画像の消去画面が表示されます。

動画を再生する

液晶モニターで記録した動画を再生します。動画の音声は、コンピュータでのみ再生できます。



1. [▶] 再生ボタンを押す
2. **十字キー（ ◀▶ ）で再生したい動画を選ぶ**
   十字キー［ ◀ ］は、前の画像が表示されます。
   十字キー［ ▶ ］は、次の画像が表示されます。
3. **十字キー（ ▲ ）を押す**
   再生が開始します。
   再生中にできる操作
   十字キー［ ◀ ］は、逆方向再生。
   十字キー［ ▲ ］は、一時停止。
   一時停止生中にできる操作
   十字キー［ ◀ ］は、コマ戻しする。
   十字キー［ ▶ ］は、コマ送りする。
   十字キー［ ▲ ］は、一時停止を解除（ 再生 ）。
4. **十字キー（ ▼ ）を押す**
   再生が停止します。

メモ

- 動画の再生時は、拡大再生はできません。
- 動画をコンピュータで再生するには、Windows Media Player9.0 以降 (WMP9.0 以降) の使用を勧めます。Windows Media Player は、次の URL からダウンロードすることができます。
  http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx

スライドショウで連続再生する

SD メモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された全画像を連続して再生します。



1. **[▶] 再生ボタンを押す**
   最後に記録された画像が液晶モニターに表示されます。
2. **MENU ボタンを押す**
   再生 1 メニューが表示されます。



3. **十字キー (▼) を押して、「スライドショウ」を選択して、(OK) ボタンを押す**
4. **十字キー (▲▼) を押して、再生間隔を選択する**
   3 秒、5 秒、10 秒から選択できます。
5. **(OK) ボタンを押す**
   スライドショウが始まります。
   (OK) ボタンを押すと、スライドショウが停止します。

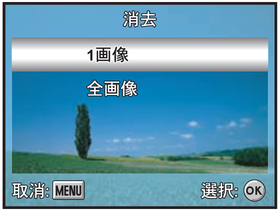
メモ

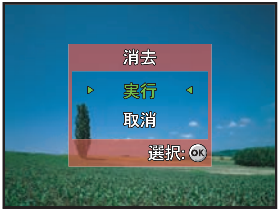
・ 動画は最初の 1 コマが表示され、再生は行われません。

画像／動画を消去する

失敗したり、不要になった画像や音声を消去します。

・ 消去した画像は復元ができません。消去する前に確認メッセージが出ます。





1. **モードダイヤルを、S、P、[人物]、[風景]、[スポーツ]、[夜景] または [動画] の位置に合わせ、電源スイッチを押す**
2. **[▶] 再生ボタンを押す**
   最後に記録された画像が液晶モニターに表示されます。
3. **十字キー（◀▶）で消去する画像を選ぶ**
   サムネイル画面からも画像 / 動画を選択することができます。
4. **[消去] 消去ボタンを押す**
5. **十字キー (▲▼) で 1 画像か全画像を選択して、次に、OK ボタンを押す**
   [1 画像]:1 画像または 1 動画を消去します。
   [全画像]: 一度に全ての画像と動画を消去します。
6. **消去メッセージが表示され、十字キー (▲▼) で、「実行」を選択し、次に消去を確認するために OK ボタンを押す**
   消去を中止する場合、「取消」を選択する。

メモ
・ プロテクトされている画像は消去できません。

消去できないようにする (プロテクト)

画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1. **[▶] 再生ボタンを押す**
   最後に記録された画像が液晶モニターに表示されます。
2. **十字キー（◀▶）で選択したい画像を選ぶ**
   十字キー [◀] は、前の画像が表示されます。
   十字キー [▶] は、次の画像が表示されます。
3. **MENU ボタンを押す**
   「再生 1 」が表示されます。
4. **十字キー (▼) を押して、「プロテクト」を選択し、OK ボタンを押す**
5. **十字キー (▲▼) で「1 画像」か「全画像」を選択し、OK ボタンを押す**
   画像 :1 静止画または 1 動画をプロテクトします。
   全画像 : 一度にすべての静止画 / 動画をプロテクトする。
6. **十字キー (▲▼) で「プロテクト」を選択し、OK ボタンを押す**
   選択された画像に O┳ プロテクトアイコンが表示されます。
   MENU ボタンを押して、再生メニューへ戻ります。





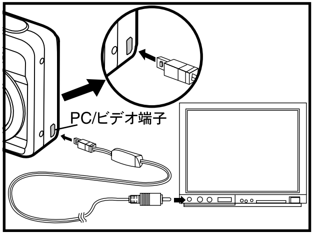


メモ

- プロテクトされている画像を取り消す場合は、手順 6 で「解除」を選択します。
- SD メモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットすると、プロテクトされた画像も消去されます。

テレビで画像を見る

ビデオケーブルを使用すると、テレビなど、ビデオ入力端子を備えた機器をモニターにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。また、「設定 2」メニューの「ビデオ出力」を接続する AV 機器のビデオ入力形式に合わせて、「NTSC」か「PAL」のいずれかに設定して下さい。



1. **ビデオケーブルの端子とカメラの PC/ ビデオ端子を、互いに形状や向きが合致するのを確認しながら接続する。**
2. **テレビのビデオ入力端子へもう一方の端子を接続する**
3. **テレビとカメラの電源をオンにする**
4. **静止画 / 動画を再生する**

   操作方法はカメラの液晶モニター上で静止画や動画を再生する方法と同じです。

メモ

- テレビでは、動画の音声を再生できません。コンピュータのみ動画で録音された音を再生できます。
- 日本国内では、ビデオ出力形式は NTSC です。

撮影画像のリサイズと画質変更

選択した画像の記録サイズを小さく、もしくは画質を変更して、ファイルサイズを元のファイルサイズよりも小さくすることができます。





1. **[▶] 再生ボタンを押す**
   最後に記録された画像が液晶モニターに表示されます。
2. **十字キー（◀▶）で選択したい画像を選ぶ**
   十字キー[◀]は、前の画像が表示されます。
   十字キー[▶]は、次の画像が表示されます 。
3. **MENU ボタンを押す**
   「再生 1 」が表示されます。
4. **十字キー (▶) を押す**
   「再生 2 」が表示されます。
5. **十字キー (▼) を押して、「リサイズ」を選択して、次に、(OK) ボタンを押す**
6. **十字キー (▲▼) を押して、記録サイズを選択し、(OK) ボタンを押す**
7. **画質を変更するには、操作手順 5 で、十字キー (▼) を押して、「画質変更」を選択して、(OK) ボタンを押す**
8. **十字キー (▲▼) を押して、画質を選択し、(OK) ボタンを押す**

メモ

- 元の画像の記録サイズよりも大きな記録サイズは選択できません。
- 元の画質よりもきれいな画質は選択できません。
- 動画のサイズを変更することはできません。

内蔵メモリーから SD メモリーカードへ画像をコピーする

内蔵メモリーに記録された画像を SD メモリーカードにコピーすることができます。あらかじめ SD メモリーカードを入れておかないと、この機能は選択できません。内蔵メモリーから SD メモリーカードにコピーする場合は、すべてのファイルが一括してコピーされます。



1. **[▶] 再生ボタンを押す**
   最後に記録された画像が液晶モニターに表示されます。
2. **MENU ボタンを押す**
   「再生 1」が表示されます。
3. **十字キー (▶) を押す**
   「再生 2」が表示されます。
4. **十字キー (▼) を押して、「画像コピー」を選択して、(OK) ボタンを押す**



5. **十字キー (▲▼) を押して、「実行」を選択して、(OK) ボタンを押す**

メモ
- ファイル名は、新しいファイル名に変更されます。

プリントサービスの設定する (DPOF)

DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した静止画像に、プリントのための情報を記録するためのフォーマットです。撮影した静止画に DPOF 設定をすると、DPOF 対応プリンターやプリントサービス店で DPOF 設定にしたがったプリントが行えます。

動画ファイルには、DPOF 設定をすることはできません。

[1 画像 / 全画像のプリント設定]

1. **▶ 再生ボタンを押す**
   最後に記録された画像が液晶モニターに表示されます。
2. **十字キー（◀▶）でプリントしたい画像に切り替えます**



3. **MENU ボタンを押す**
   「再生 1」が表示されます。
4. **十字キー [▼] で、DPOF を選択し、OK ボタンを押す**



5. **十字キー [▲▼] で 1 画像か全画像を選択し、OK ボタンを押す**
   1 画像：各画像ごとにプリント設定をします。
   全画像：全画像のプリント設定をします。
   全リセット：DPOF 設定を解除します。



6. 十字キー [▲▼] で枚数と日付を設定し、OK ボタンを押す

枚数：十字キー [◀▶] でプリント枚数（0-10）を設定します。

日付：十字キー [◀▶] でプリントに日付を入れるか / 入れないか設定します。

選択された画像に アイコンが表示されます。

7. 手順 5 で MENU ボタンを押すと DPOF 設定をせずに、再生メニューへ戻ります



[1 画像の DPOF 設定を取り消すには]

手順 5 に戻って、「1 画像」を選択して、手順 6 で枚数を「0」に設定します。



[全画像の DPOF 設定を取り消すには]

DPOF 設定を解除するために、手順 5 で「全リセット」を選択します。



メモ

- DPOF 設定は画像が SD メモリーカードに記録されている場合のみ設定することができます。
- カメラに DPOF 設定を実行する前、内蔵メモリーから SD メモリーカードへ画像をコピーしてください。
- 選択された画像に アイコンが表示されます。
- 動画ファイルには、DPOF を設定することはできません。
- プリンターやプリント取扱店のプリント機器によっては、DPOF の設定で日付をオンにしても、プリントに日付が写し込まれない場合があります。



カメラを直接プリンターにつないでプリントする

付属の USB ケーブル（I-USB60）で、カメラを PictBridge 対応プリンターに接続すると、パソコンを介さなくても、カメラからダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリントする枚数は、カメラとプリンターを接続した状態で、カメラ側で設定します。プリントサービス（DPOF）の設定で印刷を行うこともできます。

注意

- カメラをプリンターに接続するときは、AC アダプターキット K-AC51J のご使用をおすすめします。プリンターと通信中に電池が消耗すると、プリンターが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- データ転送中に USB ケーブルを抜かないでください。
- プリンターの種類によっては、カメラ側の設定（画質、DPOF の設定など）が一部しか反映されないことがあります。
- 設定されたプリント枚数が多い場合、正しくプリントされないことがあります。

[カメラをプリンターに接続する]

1.　モードダイヤルを [icon] に合わせて、電源スイッチを押す

「設定 1 」を表示します。

2.　十字キー (▶) を押す

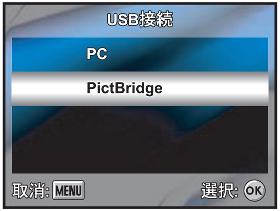
「設定 2 」を表示します。

3.　十字キー (▼) を押して、「 USB 接続」を選択して、(OK) ボタンを押す

4.　十字キー (▼) を押して、「 PictBridge 」を選択して、(OK) ボタンを押す

5.　カメラを付属の USB ケーブルでプリンターに接続する

「処理中です」の表示後に、PictBridge メニュー画面が表示されます。



メモ

「USB 接続」で「PictBridge」を選択したままでカメラをパソコン接続しないでください。「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンへ接続してしまった場合、WindowsXP および MacOS10.x では、カメラの電源をオフにして、USB ケーブルをパソコンから取り外してください。Windows98/SE/ME/2000 では、新しいハードウェアの検索ウィザードの開始をキャンセルして、カメラの電源をオフにして、USB ケーブルをパソコンから取り外してください。

[1画像ずつ印刷する]

カメラを PictBridge 対応プリンターへ接続すると、「印刷モード選択」画面が液晶モニターに表示されます。
印刷モードを十字キー (▲▼) を押して選択します。
1画像モード： 1画像ずつプリントする

1. 十字キー (▲▼) を押し、「1画像」を選択し、 ボタンを押す



2. 十字キー (◀▶) を押し、印刷したい画像を選択し、十字キー (▼) を押す



3. 十字キー (▲▼) を押し、印刷設定項目を選択し、十字キー (◀▶) を押して設定を行い、 ボタンを押す

枚数：十字キー [◀▶] でプリント枚数（0-10）を設定します。

日付：あり / なしを設定選択します。「あり」に設定するとプリントに日付を印刷します。

ファイル名：あり / なしを設定選択します。「あり」を設定するとプリントにファイル名を印刷します。

設定の後、画像には、 アイコンが表示されます。



4. 十字キー (◀▶) を押し、さらに印刷したい画像を選択する



5. OK ボタンを押す



6. 十字キー (▲▼◀▶) を押し、用紙設定を行い、OK ボタンを押す

用紙サイズ：お使いのプリンターで設定可能な用紙サイズが選択できます。

ふち指定：お使いのプリンターでふち指定が可能な場合、ふちの有無を選択できます。

印刷を開始すると、「印刷中です」 と液晶モニターに表示します。このメッセージは、印刷終了まで表示します。

印刷を中止するには：印刷中に OK ボタンを押し「取消」を選択し OK ボタンを押す。

印刷終了後は、「印刷モード選択」の画面に戻ります。





[全画像モード]

全画像をプリントする。

1. ［1 画像ずつ印刷 ］の手順 1 で「全画像」を選択し、手順 2　ー　6 を参照してください。(JP-53)



[DPOF モードによる印刷]

事前に DPOF 設定を済ませている場合、設定にもとづいてプリントします。

1. ［1 画像ずつ印刷 ］の手順 1 の「印刷モード選択」で「 DPOF 指定」を選択します。
2. ［1 画像ずつ印刷 ］手順 5　ー　6 を参照してください。(JP-54)



メモ

・ DPOF 対応プリンターにカメラを接続していない場合、「 DPOF 指定」を選択できません。

カメラ内の画像や動画を転送する

ファイルをパソコンに移すために、カメラ付属の USB ケーブルかカードリーダのどちらかを使用します。
Windows 98/98SE/Me/2000/XP（Home Edition・Professional）がプリインストールされたパソコン（Windows 98/98SE のみドライバのインストールが必要）



ステップ 1:USB ドライバをインストールする（Windows 98/98SE のみ）
Windows 98/98SE をお使いの場合は、カメラを USB 経由でパソコンに接続するためのドライバソフトをインストールする必要があります。Windows 2000/Me/XP をお使いの場合は、USB ドライバのインストールは必要ありません



1. **付属の CD-ROM（S-SW60）をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする**
2. **自動的に「PENTAX Software Installer」の画面が表示されますが、ここでの作業では、操作する必要はありません。** **ボタンをクリックして画面を閉じる**
3. **カメラの電源をオフにして、USB ケーブルでカメラとパソコンに接続する**
4. **カメラの電源をオンにする**
5. **カメラの接続が認識され、新しいハードウェアの追加ウィザード画面が表示される**
6. **「 次へ」クリックする**
7. **「 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択して、「次へ」をクリックする**
8. **「 CD-ROM ドライブ」だけをチェックして、「次へ」をクリックする他の項目がチェックされている場合は、その項目をクリックしてチェックマークを外す**
   画面に従ってインストールします。
9. **USB ドライバがインストールされた後、コンピュータを再起動する**



・　Windows 2000/Me/XP 及び MAC OS9.2 以降の場合

Windows 2000/Me/XP 及び MAC OS9.2 以降では、コンピュータは、自動的にカメラを認識し、USB ドライバをインストールします。

ステップ 2: カメラとパソコンを接続する

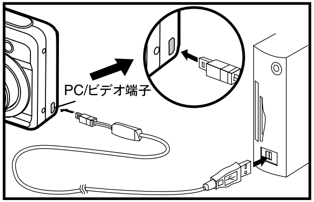


1. **モードダイヤルを に合わせ、電源スイッチを押しカメラをオンにする**
2. **十字キー [▶] で「設定 2 」を選択し、十字キー [▼] で「USB 接続」を選ぶ**
3. **OK ボタンを押す**
4. **十字キー [▼] で「PC 」を選び、OK ボタンを押す**
5. **カメラの電源を切る**
6. **同梱の USB ケーブルでカメラとパソコンを接続する。**
   その際、USB ケーブルの端子とカメラ、パソコンの入力端子の互いの形状が合致するよう注意して下さい。
7. **電源スイッチを押し、カメラをオンにする**
8. **マイコンピュータにリムーバブルディスクが検出され、その中に画像や動画ファイルがあります**
   カメラはデスクトップ上の「名称未設定」として認識されます。ドライブ名は変更できます。



ステップ 3: 画像を転送する

カメラの電源をオンにして、USB ケーブルでコンピュータに接続すると、「リムーバブルディスク」(マッキントッシュ：デスクトップの「名称未設定」) として認識されます。ファイルをパソコンのハードドライブへコピー（転送）することができます。



- **Windows**

「リムーバブルディスク」を開き、画像ファイルが収納されている「DCIM」フォルダをダブルクリックし、フォルダを開きます。
必要な、静止画像もしくは動画を選択して、「編集」メニューから「コピー」します。
コピー先のフォルダを開き、「編集」メニューから「貼り付け」を選ぶ。
また、画像ファイルをカメラから目的のフォルダへドラッグ・アンド・ドロップすることもできます。

- **マッキントッシュ**

「名称未設定」のディスクトップアイコン開いて、パソコンのハードディスクドライブ上の転送先フォルダを開きます。
カメラから目的のフォルダへドラック・アンド・ドロップをします。

メモ

- パソコンに ACDSee for PENTAX 2.0 をインストールしている場合、カメラをパソコンに接続すると自動的にデバイス検出の画面が表示される場合があります。画面の指示に従ってカメラ内のファイルをパソコンに転送することができます。
- カメラをパソコンに接続するときは AC 電源の使用をおすすめします。画像の転送中にバッテリーが消耗すると、画像データが壊れることがあります。SD メモリーカードをお使いの場合、SD メモリーカードリーダを使用することもできます。

画像処理ソフト (ACDSee for PENTAX) をインストールする

本製品に付属する CD-ROM(S-SW60) に収録されている画像閲覧・編集ソフトウェア「ACDSee for PENTAX」をお手持ちのパソコンにインストールすることで、撮影した画像や動画をパソコン上でお楽しみいただくことができます。
「ACDSee for PENTAX」の必要動作環境は以下の通りです。

	Windows	Macintosh
OS	Windows98SE/Me/NT/2000/XP	Mac OS 9.2 以降
CPU	Pentium 以降（Pentium III 500MHz 以上）	PowerPC 266MHz 以上
メモリー	64MB 以上（128MB 以上）	8MB 以上
ハードディスク空き容量	40MB 以上（50MB 以上）	6MB 以上
その他	CD-ROM ドライブ、Internet Explorer 5.0 以降、QuickTime 6.0 以降、DirectX 9.0 以降、Windows Media Player 7.1 以降が必要になります。	CD-ROM ドライブ、QuickTime 6.0、OS 9.2 では CarbonLib 最新版が必要になります。

- 対象 OS は、そのマシンにプリインストールされたもので、最新のバージョンにアップデートされているものに限ります。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- （　）内は "ACD Showtime! for PENTAX" の最低動作環境です。
- "ACD Showtime! for PENTAX" は Windows のみ対応しています。
- CD(S-SW60) 収録されている QuickTime7 は、Windows2000/XP 以外の Windows OS にインストールすることができません。Windows 98/98SE/Me で動画を参照するに為には、QuickTime6 を http://www.apple.com のウェブサイトからダウンロードしてください。

[ACDSee for PENTAX をインストールする]



1. パソコンの電源を入れる。

2. 付属の CD-ROM（S-SW60）をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

3. 言語選択画面が表示されるので「日本語」をクリックする

「PENTAX Software Installer」の画面が表示されない場合

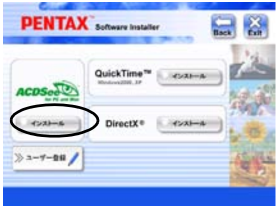
以下の手順で「PENTAX Software Installer」の画面を表示させます。

1）デスクトップ画面から「マイ コンピュータ」をダブルクリックする

2）「CD-ROM ドライブ（S-SW60）」のアイコンをダブルクリックする

3）「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックする

4. QuickTime と DirectX をインストールする



QuickTime と DirectX の環境がパソコンに整っていない場合は、ACDSee for PENTAX 2.0 をインストールする前に、必ずインストールしておいてください。「QuickTimeTM」または「DirectX」の「インストール」をクリックします。セットアップ画面が表示されたら、画面の指示に従ってインストール作業を進めてください。インストールが完了すると、ソフトウェアの選択画面に戻ります。

CD-ROM(S-SW60) に入っている QuickTime 7 は、Windows2000/XP 以外の OS へは、インストールできません

5. 「 ACDSee™」の「インストール」をクリックする

セットアップ画面が表示されたら、画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストール作業を進めてください。インストールが完了したら、Windows を再起動してください。

メモ

- より詳しい各機能の説明は、ACDSee for PENTAX のオンラインヘルプをご覧ください。
- Windows 2000 および Windows XP で複数のアカウントを設定している場合は、administrator（管理者）権限でログオンしてからインストールを始めてください。

ACDSee for PENTAX サポート連絡先

お問合せ先：サイバーリンクトランスデジタル株式会社

受付時間：10:00 ～ 13:00、14:00 ～ 17:00、月～金曜日（指定休業日、祝祭日を除く）

電話：0570-088-159（ナビダイヤル）　　　FAX ：03-5339-7517

カメラメニュー

静止画撮影メニュー
このメニューは静止画撮影のための基本設定です。









1. **モードダイヤルを、S、P、、、、の位置に合わせ、電源スイッチを押す**
2. **MENU ボタンを押し、十字キー(◀▶)を押して、「メニュー 1」/「メニュー 2」/「メニュー 3」を切り替える**
   S モードの場合は、「メニュー」一つだけとなります。
3. **十字キー(▲▼)を押して、設定項目を選び、OK ボタンを押す**
4. **十字キー(▲▼◀▶)を押して、設定を選び、OK ボタンを押す**
5. **メニュー画面を抜けるには MENU ボタンを押します**

・ S モード

項目	機能の説明
記録サイズ	撮影する画像の記録画素数を設定します。詳細は「記録サイズと画質を選択する」(JP-29) を参照してください。 6M 2816 × 2112 4M 2304 × 1728 2M 1600 × 1200 640 640 × 480
画質	画像の圧縮率を設定します。詳細は「記録サイズと画質を選択する」(JP-29) を参照してください。 ☆☆☆ S. ファイン ☆☆ ファイン ☆ エコノミー

・ 、、、、 のモード。

・ メニュー 1

項目	機能の説明
記録サイズ	画像の記録画素数を設定します。詳細は「記録サイズと画質を選択する」(JP-29) を参照してください。
画質	画像の圧縮率を設定します。詳細は「記録サイズと画質を選択する」(JP-29) を参照してください。
ホワイトバランス WB	被写体の色は光源によって変わります。例えば、日中の光があたっているときと電球の光があたっているときとでは、同じ白い被写体であっても白の色が違います。ホワイトバランスでは、光源に応じて白の色を設定します。 AWB オート 太陽光 曇天 白熱灯 蛍光灯
感度 ISO	撮影するときに感度を設定します。感度が高い (数値が大きい) ほと、暗い場所でもシャッター速度を早くできます。画像には、ノイズが増えます。 オート /64 / 100 / 200

・　メニュー 2

項目	機能の説明
測光方式	画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。 中央部重点：画面中央を重点的に測光して露出を決定します。 スポット：画面の中央のみを測光して露出を決定します。
デジタルズーム	撮影時にデジタルズームを有効にする / しないを設定します。詳細は「ズームを使って撮影」(JP-30）を参照してください。
クイックビュー	撮影直後に画像を液晶モニターへ表示する / しないを設定します。

・　メニュー 3

項目	機能の説明
カラーモード	撮影する画像の色の設定をします。 フルカラー 白黒 セピア
シャープネス	画像の輪郭を強調または柔らかくします。 高 / 中 / 低
彩度	撮影する画像をの鮮やかさを 3 段階で設定します。 高 / 中 / 低
日付写込み	静止画に直接日付を画像データとして埋め込みます。この機能は、撮影する前に設定されていなければなりません。日付は、撮影した画像の右下に写し込まれ、後に取り除くことはできません。日付の写し込まれた画像を付属ソフト ACDsee for PENTAX の初期設定のままで印刷すると日付が二重に印刷されますので注意して下さい。

・　動画メニュー

このメニューは動画を記録するときの、基本設定です。



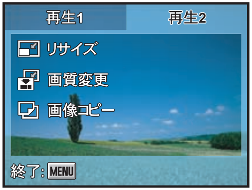
1. モードダイヤルを、動画モードに合わせ、電源スイッチを押す
2. MENU ボタンを押し、十字キー (◀▶) を押して、設定項目を選び、OK ボタンを押す
3. 十字キー (▲▼◀▶) を押して、設定を選び、OK ボタンを押す
4. メニュー画面を抜けるには MENU ボタンを押す

項目	機能の説明
カラーモード 	詳細は静止画撮影メニュー (JP-64) を参照してください。
デジタルズーム 	詳細は静止画撮影メニュー (JP-64) を参照してください。

再生メニュー

このメニューでは、再生時に使用する設定を行います。





1. **再生ボタンを押す**
   最後に記録された画像が液晶モニターに表示されます。
2. **MENU ボタンを押し、十字キー (◀▶) を押して、「再生 1」/「再生 2」を切り替える**
3. **十字キー (▲▼) を押して、設定項目を選び、OK ボタンを押す**
4. **十字キー (▲▼) を押して、設定を選び、OK ボタンを押す**
5. **メニュー画面を抜けるには MENU ボタンを押す**

・ 再生 1 メニュー

項目	機能の説明
スライドショウ	SD メモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された画像を順番に設定した時間間隔で再生します。この機能は画像のチェックやプレゼンテーションで役に立ちます。詳細は「スライドショウで連続再生する」(JP-43) を参照してください。 3 秒 /5 秒 /10 秒
プロテクト	画像や動画を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。詳細は「消去できないようにする (プロテクト)」(JP-45) を参照してください。
DPOF	プリントしたい画像とプリントする枚数を設定し、DPOF 形式でデータを記録します。プリントをするには、SD メモリーカードを DPOF 対応プリンタへ挿入するかプリント店へ渡します。詳細は「プリントサービスの設定する」(JP-49) を参照してください

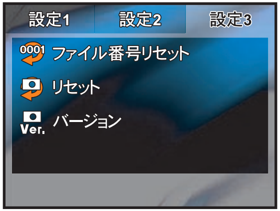
・　再生 2 メニュー

項目	機能の説明
リサイズ	記録された画像の記録サイズを変更し、元の画像に上書きをします。元の画像の記録サイズよりも大きな記録サイズは選択できません。詳細は「撮影画像のリサイズと画質変更」(JP-47) を参照してください。 4M　2304 × 1728 2M　1600 × 1200 640　640 × 480
画質変更	記録された静止画の画質を変更し古い画像に上書きします。元の画像の画質よりもきれいな画質は選択できません。詳細は「撮影画像のリサイズと画質変更」(JP-47) を参照してください。 ☆☆　ファイン ☆　エコノミー
画像コピー	カメラの内蔵メモリーから SD メモリーカードへ画像をコピーします。これは、SD メモリーカードがカメラに挿入されていて、内蔵メモリーにファイルがあるときにだけ可能です。「内蔵メモリーから SD メモリーカードへ画像をコピーする」(JP-48) を参照してください。

設定メニュー







カメラの各種設定を変更します。

1. **モードダイヤルを、 に合わせ、電源スイッチを押す**
2. **十字キー (◀▶) を押して、「設定 1」/「設定 2」/「設定 3」を切り替える**
3. **十字キー (▲▼) を押して、設定項目を選び、OK ボタンを押す**
4. **十字キー (▲▼◀▶) を押して、設定を選び、OK ボタンを押す**

設定メニューを抜けるにはモードダイヤルをその他のモードに合わせます。

・　設定 1 メニュー

項目	機能の説明
フォーマット 	SD メモリーカードおよび内蔵メモリーに保存されているすべてのデータを消去します。フォーマットを行なうと、プロテクトされた画像も消去されます。SD メモリーカードのライトプロテクトスイッチが「LOCK」側に切り替えるられている場合 SD メモリーカードのフォーマットを行えません。詳細は「SD メモリーカード / 内蔵メモリーをフォーマットする」(JP-25) を参照してください。
サウンド 	カメラのボタン操作のごとの音量を変更します。 大 / 小 / オフ
日時設定 	日付と時間を変更します。詳細は「日時を設定する」(JP-24) を参照してください。 年 / 月 / 日 月 / 日 / 年 日 / 月 / 年
Language（言語） 	液晶モニターに表示される言語を変更します。詳細は「言語を設定する」(JP-23) を参照してください。 English/ Français/ Español/ Deutsch/ Italiano/ Svenska/ Nederlands/ Русский/ Português/ 繁體中文 / 日本語

・　設定 2 メニュー

項目	機能の説明
USB 接続	USB ケーブルの接続先がパソコンか、PictBridge 対応のプリンターかによって、USB 接続モードを切り替えます。詳細は「カメラを直接プリンターにつないでプリントする」(JP-51) 及び「カメラ内の画像や動画を転送する」のステップ 2（JP-57）を参照してください。 PC/ PictBridge
ビデオ出力	テレビをモニターにして撮影や再生をするときの出力形式を、NTSC 方式と PAL 方式から選択します。 PAL/NTSC
LCD の明るさ	液晶モニターの明るさを設定できます。 調整範囲：-5 ～ +5
オートパワーオフ	一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。バッテリーの電力消費を少なくします。 2 分 /3 分 /5 分 / オフ

・　設定 3 メニュー

項目	機能の説明
ファイル番号リセット	新たに撮影される画像からファイル番号をリセットします。画像は新たに作成されるフォルダにファイル番号 0001 から記録されます。
リセット	すべての基本設定をリセットします。日時設定、言語設定（Language)、ビデオ出力の設定はリセットしません。
バージョン	現在のファームウェアのバージョンを表示します。

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

撮影時のメッセージ

カードの空き容量がありません 内蔵メモリーの空き容量がありません	SD メモリーカードまたは内蔵メモリーに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上撮影できません。 新しい SD メモリーカードをセットする (JP-18)、不要な画像を消去してください。(JP-44) 画質または記録サイズを変えると撮影できる可能性があります。(JP-47)
フォルダが作成できません	最大のファイル No. が使用されているため、画像を保存できません。新しい SD メモリーカードをセットするか (JP-18)、SD メモリーカード / 内蔵メモリーをフォーマットしてください。(JP-25)

再生時のメッセージ

画像がありません	SD メモリーカードまたは内蔵メモリーに再生できる画像が保存されていません。
この画像を再生できません	このカメラでは再生できない画像を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
カードの空き容量が足りません。	内蔵メモリーから SD メモリーカードでコピーしようとしようとしたが、SD メモリーカードの空き容量が足りません。新しい SD メモリーカードをセットするか (JP-18)、不要なデータを消去するか (JP-44)、画質または記録サイズを変えてください (JP-47)

共通メッセージ

カードが異常です	SD メモリーカードの異常で、撮影 / 再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合もあります。
カードがロックされています	SD メモリーカードがライトプロテクトされています。(JP-19)
処理中です	画像を SD メモリーカードあるいは内蔵メモリーに記録しています。 画像のプロテクト設定や DPOF 設定を変更しています。 動画を記録しています。 画像を消去しています。 SD メモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマット中です。
電池容量がなくなりました	電池残量がありません。新しい電池と交換する (JP-15) か、充電式電池の場合は充電器で充電してください また購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押したときにも表示される場合があります。

PictBridge 機能を使用する場合に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

用紙がありません	接続したプリンターの用紙がない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンターのインクがない場合に表示されます。
プリンタエラーです	接続したプリンターでエラーメッセージが送られた場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンターからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンターで紙詰まりが起こった場合に表示されます。

こんなときは

現象	原因	対処方法
電源が入らない	電池が入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	電池の入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください。電池室の +- 表示にしたがって電池を入れなおしてください。(JP-15)
	電池の残量がない	新しい電池をセットしてください。または、AC アダプターを使用してください。
液晶モニターに何も表示されない	液晶モニターがオフにセットされている	Ⓞ ボタンを押すと、液晶モニターがオンになります。(JP-26)
	USB ケーブルでパソコンに接続している	パソコンに接続しているときは、液晶モニターは常にオフになります。
	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、液晶モニターは常にオフになります。
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニターが表示されていても、確認しづらいことがあります
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ステータスランプが赤と緑に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了すると緑色に点灯します。
	SD メモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	空き容量のある SD メモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(JP-44)
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。

ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。一旦撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	撮影モードが動画の場合、ドライブモードが連続撮影、オートブラケット、10+2 秒セルフタイマーの場合ストロボは発光しません。
新しい電池を入れたのに「電池容量がなくなりました」と表示される	前回電池を取り外してから、長期間経過している	カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、このとき、日時や記録サイズなどの設定が初期化されていることがありますので、「言語を設定する」（JP-23）、「日時を設定する」（JP-24）の説明にしたがって、それぞれ設定をしなおしてください。

パソコンで楽しむ、デジタル写真、動画の世界

ビデオ機器で見る・録る

カメラとテレビ・DVD レコーダなどの AV 機器をビデオケーブルでつないで、画像や動画の表示・録画ができます。（JP-46）

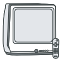
ダイレクトプリント

カメラと PictBridge 対応プリンタを直接 USB ケーブルで接続してプリントします。（JP-51）



お使いのパソコンは. . .
・ USB インターフェイスを標準装備
・ OS は Windows 98/98SE/Me/2000/XP、Mac OS 9.2/X（Ver.10.1、10.2、10.3）

カメラとパソコンを USB ケーブルで接続してカメラ内の画像をパソコンに転送できます。















お店でプリント

SD メモリーカードに保存した画像をプリントショップでプリントできます。
・ カメラで DPOF 設定をしてプリントショップでプリント（JP-49）

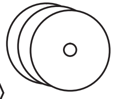
内蔵カードスロット＋ PC カードアダプタ、カードリーダーなどを使って画像を転送できます。
・ カードを取り出して他の機器で転送する場合は、ご使用の機器の説明書もご覧ください。

プリントする

パソコンに転送した画像は、プリンタで印刷することができます。
プリンタによっては、直接カードから印刷できるタイプもあります。

ACDSee for PENTAX

・ 画像の表示 . 動画の再生 . 画像の印刷
・ 画像や動画の編集加工 . 画像や動画の整理保存
・ メールでの画像／動画送付
・ ホームページでの画像／動画の発表
・ 上記の作業は、市販の画像編集ソフトでも行えます。ご使用のソフトの説明書をご覧ください。



メディアに保存

パソコンに転送した画像は、CD-R などに記録して保存できます。

インターネットで活用

パソコンに転送した画像や動画は、メールソフトを使用してメールに添付して送ったり、ホームページの素材として利用することができます。
メールへの添付方法などについては、ご使用のメールソフトの説明書をご覧ください。
・ ホームページの素材としてご利用の場合は、ご使用のソフトの説明書をご覧ください。

仕様

形式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ
有効画素数	600 万画素
撮像素子	総画素数 636 万画素、原色フィルタ / インターラインントランスファー 1/2.5 型 CCD
記録画素数	静止画 2816 x 2112 ピクセル、2304 x 1728 ピクセル、1600 x 1200 ピクセル、640 x 480 ピクセル 動画 320 × 240 ピクセル
感度	オート、マニュアル（64/100/200: 標準出力感度）
記録方式	静止画 JPEG（Exif2.2）、DCF 準拠、DPOF 対応、Print Image Matching III 対応 動画 AVI（Motion JPEG 準拠）30fps、音声付（モノラル）、※ fps= フレーム / 秒
画質	★★★（S. ファイン）、★★（ファイン）、★（エコノミー）
記録媒体	内蔵メモリー（約 13MB）、SD メモリーカード
撮影枚数	静止画

記録サイズ	画質	内蔵メモリー	SD メモリーカード						
			32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
2816 x 2112 6M	☆☆☆ S. ファイン	4	9	20	42	82	164	329	670
	☆☆ ファイン	8	20	41	85	166	329	659	1342
	☆ エコノミー	13	30	63	127	249	494	989	2013
2304 x 1728 4M	☆☆☆ S. ファイン	6	15	31	63	124	247	494	1006
	☆☆ ファイン	13	30	63	127	249	494	989	2013
	☆ エコノミー	19	43	90	182	356	706	1414	2877
1600 x 1200 2M	☆☆☆ S. ファイン	13	30	63	127	249	494	989	2013
	☆☆ ファイン	26	61	126	256	499	989	1980	4018
	☆ エコノミー	38	88	180	366	713	1414	2829	5754
640 x 480 640	☆☆☆ S. ファイン	68	154	317	641	1249	2475	4951	10071
	☆☆ ファイン	113	258	528	1068	2082	4125	8253	16785
	☆ エコノミー	152	344	705	1425	2776	5501	11004	22381

動画

記録サイズ	内蔵メモリー	SD メモリーカード						
		32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
320 x 240	0:00:49	0:01:53	0:03:53	0:07:51	0:15:18	0:30:19	1:00:41	2:03:25

動画のフレームレート (1 秒間撮影するコマ数) は、30 コマ (30 フレーム／秒) です。
この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、使用する SD メモリーカードなどにより変わります。

ホワイトバランス　オート、太陽光、曇天、白熱灯、蛍光灯、

レンズ
焦点距離　5.5mm ～ 16.5mm（ 35mm フィルム換算：34 ～ 102 mm 相当)
最大 F 値　広角：F2.8 / 望遠 F4.8
レンズ構成　5 群 6 枚（両面非球面レンズ 2 枚使用)
撮影範囲　約 68mm x 51mm を画面いっぱいに撮影 (マクロモード広角時)

デジタルズーム　撮影時 最大約 4 倍（光学 3 倍ズームと合わせ、最大約 12 倍相当のズーム倍率)

液晶モニター　2.4 型 TFT カラー LCD（バックライト付)、約 11.2 万画素

再生機能
1 コマ、インデックス（9 画面)、拡大再生（最大 4 倍まで、スクロール可)、動画再生、
スライドショウ、リサイズ、プロテクト、
画像コピー（内蔵メモリー　→ SD メモリーカード)、DPOF

オートフォーカス方式
撮像素子による TTL コントラスト検出方式
撮影範囲　標準　：0.4m　～　∞ (ズーム全域)
マクロ：広角時 0.06 m ～∞ m
望遠時 0.35 m ～∞ m
動画　：0.4m　～　∞ (ズーム全域)
フォーカスロック　シャッターボタン半押しによる

レンズ
焦点距離　5.5mm ～ 16.5mm（ 35mm フィルム換算：34 ～ 102 mm 相当)
最大 F 値　広角：F2.8 / 望遠 F4.8
レンズ構成　5 群 6 枚（両面非球面レンズ 2 枚使用)
撮影範囲　約 68mm x 51mm を画面いっぱいに撮影 (マクロモード広角時)

デジタルズーム　撮影時 最大約 4 倍（光学 3 倍ズームと合わせ、最大約 12 倍相当のズーム倍率)

液晶モニター	2.4 型 TFT カラー LCD（バックライト付)、約 11.2 万画素
再生機能	1 コマ、インデックス（9 画面)、拡大再生（最大 4 倍まで、スクロール可)、動画再生、 スライドショウ、リサイズ、プロテクト、 画像コピー（内蔵メモリー　→ SD メモリーカード)、DPOF
オートフォーカス方式	撮像素子による TTL コントラスト検出方式 撮影範囲　標準　：0.4m　～　∞ (ズーム全域) マクロ：広角時 0.06 m ～∞ m 望遠時 0.35 m ～∞ m 動画　：0.4m　～　∞ (ズーム全域) フォーカスロック　シャッターボタン半押しによる
露出機構	測光方式撮像素子による TTL 測光（中央部重点、スポット） 露出補正± 2EV（1/3EV ステップで設定可能)
動画撮影時間	約 1 秒～メモリーカード容量いっぱいまで
撮影モード	シンプル、プログラム、ポートレート、風景、スポーツ、夜景、動画、7 ポジション
シャッター	型式 メカニカル併用電子シャッター 速度 約 1/1000 秒～約 2 秒
ストロボ	型式 赤目軽減機能付オートストロボ
発光モード	自動発光、発光禁止、強制発光、自動発光 ＋ 赤目軽減
ストロボ撮影範囲	広角時 約 0.5m ～約 3.4m　(標準出力感度 200 の条件において) 望遠時 約 0.5m ～約 2.0m　(標準出力感度 200 の条件において)
ドライブモード	1 コマ撮影、オートブラケット撮影、セルフタイマー撮影 (10 秒 /2 秒)、ダブルセルフタイマー撮影 (10+2 秒)、連続撮影 (3 枚まで)
セルフタイマー	電子制御式、制御時間：約 10+2 秒、10 秒、約 2 秒
電源	単 3 形電池 2 本（アルカリ、ニッケル水素充電池)、 AC アダプターキット　K-AC51J（別売)

電池寿命	静止画撮影　約 100 枚（同梱アルカリ電池使用時）※ 1 約 350 枚（Ni-MH(2500 mAh) 電池使用時）※ 1 ※ 1　撮影枚数は CIPA 規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。 (CIPA 規格抜粋：液晶モニター ON、ストロボ使用率 50%、23 ° C)
入出力ポート	PC/ ビデオ端子
ビデオ出力方式	NTSC/PAL（音声出力はされません）
PictBridge	対応プリンター　"PictBridge" 対応のプリンター 印刷モード　1 画像印刷、全画像印刷、DPOF 印刷
大きさ	90（幅）x 63（高）x 32（厚）mm（操作部、突起部を除く）
質量	130g（電池、SD メモリーカード含まず）
撮影時質量	180g（電池、SD メモリーカード含む）
主な付属品	単 3 形アルカリ電池（2 本)、USB ケーブル、ソフトウェア（CD-ROM)、ビデオケーブル、ストラップ、使用説明書 (CD-ROM)

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満 1 年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。
   修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。
2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。
4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。[保証期間中のみ有効]
7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。

電話受付

0120-737-919（フリーダイヤル）

03-3975-4314（携帯・PHS 用）

受付時間：午前 9:00 ～午後 5:00

（土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く）

インターネット受付

URL：https://www.pentax.co.jp/japan/support/

FAX 受付

FAX:03-3975-4318

インターネット受付の URL アドレスから FAX 申込書をダウンロードしてお使いください。

[宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ]

ペンタックスサービス（株）東日本修理センター 03-3975-4341（代）

〒 175-0082 東京都板橋区高島平 6-6-2

ペンタックス（株）流通センター内

営業時間：午前 9:00 ～午後 5:00 （土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス（株）西日本修理センター 06-6271-7996（代）

〒 542-0081 大阪市中央区南船場 1-17-9 パールビル 2 階

営業時間：午前 9:00 ～午後 5:00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

索引

[ペンタックスファミリーのご案内]
「写真をもっと楽しむために …」
ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の全国的な写真クラブです。会員の方には、年4回発行の機関誌「Pentax Family」や年1回発行の「ペンタックス写真年鑑」などの刊行物をお届けするほか、写真セミナーなどのイベントへの参加や修理料金の会員割引等の様々な特典をご用意しています。あなたも「ペンタックスファミリー」で素晴らしい写真の世界をお楽しみください。

ペンタックスファミリー**事務局** TEL.03-3960-5740（代）
〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
営業時間午前 9:00 ～午後 5:30
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）
ペンタックスファミリーホームページアドレス　http://www.pentax.co.jp/family/

ユーザー登録のお願い
お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。付属しています CD-ROM と弊社ホームページから登録が可能です。

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス http://www.pentax.co.jp/

[弊社製品に関するお問い合わせ]
お客様相談センター 0570-001313
（市内通話料金でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS の方は、右記の電話番号をご利用ください。 TEL 03-3960-3200（代）
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9
営業時間 午前 9：00 ～午後 6：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[ショールーム・写真展・修理受付]
ペンタックスフォーラム TEL 03-3348-2941（代）
〒 163-0401 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1 階（私書箱 240 号）
営業時間 午前 10：30 ～午後 6：30
（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

for your
precious moments

ペンタックス株式会社
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。